

お知らせ

令和5年度 かかりつけ医等 心の健康対応力向上研修のお知らせ

【令和5年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修のお誘い】

那覇市医師会 副会長 玉井 修

無縁社会が拡がっている。8050問題、孤独死、老老介護、限界家族など様々な表現で社会から孤立した人達の問題が語られている。コロナ禍で無縁社会は更に拡がり、見えにくくなった感がある。高齢者は元々希薄であったコミュニティを失い、孤立化し自信を失い『歳をとれば何も良いことは無い』と呟く様になった。これは個人の責任なのか、私たちにとって対岸の火事なのであろうか。いやそうではない、誰にでも明日にでも起こりうる事態なのだ。私が出会った限界家族は概ね自分たちが限界家族であるという認識を持っていない。親の面倒、子供の面倒は自分がみるのが当然だと思い詰めて、自らが相互依存の渦巻きの渦中にある事を認識できず遂には共倒れの悲惨な事態に陥る。with コロナの時代を迎えて、より深刻さを増す無縁社会をどう生きるべきか、医師として果たすべき役割とは何なのか一緒に考えてみませんか？

1 目 的

令和4年の全国の自殺者は21,881人と前年比874人増であった。沖縄県においても277人と前年比31人増であり、年代別でみると60代が57人、70代が36人、80代以上が16人である。新型コロナウイルス感染症の流行は、介護サービス利用や交流の制限、心理的ストレス、コミュニケーションの問題など高齢者や介護者のメンタルヘルスに深刻な影響を与えてきたと考えられる。

今回は、高齢者やその介護者の現状を知り、そのような高齢者や介護者の心理的側面やうつ等について適切な対応や関係機関との連携について理解を深めることを目的とする。

2 主 催 県立総合精神保健福祉センター

3 後 援 沖縄県医師会 (予定)

4 場 所 沖縄県医師会館ホール

5 対 象 内科医等一般科かかりつけ医及び精神科、研修医等 ※定員に達した際には医師を優先します。

6 研修日時 令和5年11月22日(水) 19:00～21:00 (18:30受付開始)

7 研修内容

<第一部>

座長 曙クリニック 院長/那覇市医師会 副会長 玉井 修 氏

講師 北中城若松病院 公認心理師 松本 苑 氏

講演 「ケアする人のケアを考える～介護家族の支援～」

<第二部>

座長 琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 教授 近藤 毅 氏

講師 慶應義塾大学 名誉教授/予防医療センター 特任教授 三村 将 氏

講演 「ポストコロナ時代の高齢者のメンタルヘルス」

8 単 位 (※申請予定) 日本医師会生涯教育講座
 第1部 CC:13 (医療と介護および福祉の連携) 0.5単位
 第2部 CC:70 (気分障害) 1.5単位

9 定 員 80名程度

10 参 加 料 無料

11 申込方法 右のQRコードもしくは下記URLより申し込みください

お申し込みフォーム

医師専用 URL
<https://forms.gle/cSMMd2QfMqVZTy6PA>
 その他 (医師以外の方)
<https://forms.gle/ahU1b2WFmw2PSoZp7>

<医師専用>

<その他(医師以外)>



※令和5年11月8日(水)締切(医師優先)
 キャンセルされる場合は早めにご連絡ください

12 問合せ先 県立総合精神保健福祉センター相談指導班 (比嘉、山城)
 TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710